

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 5 月		工事概要	施工延長 L=16.4m	
契約番号	2026000449			配水管布設替工 DIP-K φ100 L=16.4(18.0)m	
路線名	県道原町浪江線			排泥弁工 N=1箇所	
工事等名	下水道関連事業 配水管布設替（大木戸字松島地区）工事			不断水工 N=1箇所	
				雑工 N=1式	
工事等場所	南相馬市 原町区大木戸字松島 地内		産業廃棄物処理料 N=1式		
総工事費	当初請負		仕様概要	1 設計図書及び標準仕様書に準ずること	
	当初設計			2 詳細は監督員の指示によること	
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消 費 税 相 当 額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

最低制限価格の設定(算定)について

下水道関連事業配水管布設替(大木戸字松島地区)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲：予定価格(入札書比較価格)の75%～92%+消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

舗装工事

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

水道工事

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費68%

電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費+直接工事費)×97%+(共通仮設費+間接労務費)×90%+(現場管理費+工場管理費+機器間接費)×90%+一般管理費(製作分+据付分)×68%

機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費+直接工事費)×97%+(共通仮設費+間接労務費)×90%+(現場管理費+工場管理費+据付間接費+設計技術費)×90%+一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費等)

南相馬市原町区

施工箇所



太平洋



凡 例	

総括情報表

事務所	D1 南相馬市		
設計書名	実施設計書	当初	00000000000
変更回数	0		
事業名			
適用単価区分	1 実施単価		
適用単価地区	71 S (相双1) 地区		
単価適用日	00-08.04.33(0)		
諸経費体系	9 水道工事		
ファイル名	00000000000当初R8下水道関連事業配水管布設替(大木戸字松島地区)工事		
	当 世 代	前 世 代	
前払率	40		
工種区分	01 開削・小口径推進工事等		
冬期割増	00 冬期割増なし		
施工地域補正	06 一般交通影響あり2		
積雪寒冷地補正	00 積雪寒冷地補正なし		
現場環境改善費	00 必要なし		
契約保証補正	01 金銭的保証		
週休二日補正	01 月単位		
復興係数(共通仮設費)	01 補正あり 1.3		
復興係数(現場管理費)	01 補正あり 1.1		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
配水管布設替工事	1	式			Y1384 工種 第0001号表
直接工事費					
安 全 費		式			Z0008
工事名標示板加算額	2	基			S9990 00 施工 第0 -0049号表
共通仮設費 対象額算出		式			
共通仮設費（率分）		式			Z0013
共通仮設費					
純工事費					
現場管理費 対象額算出		式			
現場管理費		式			
工事原価					

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費 対象額算出		式			
一般管理費等		式			
工事価格					
工事価格(改め)					
消費税相当額		式			
工事費計					

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配水管布設替工事 Y1384					工種 第0001号表
配水管布設替工					Y2384
	1	式			工種 第0002号表
排泥工					Y2384
	1	式			工種 第0006号表
不断水工					Y2384
	1	式			工種 第0010号表
雑工					Y2384
	1	式			工種 第0014号表
産業廃棄物処理料					Y2384
	1	式			工種 第0017号表
交通安全工					Y2193
交通管理工					Y32A2007330
交通誘導員					Y4019
交通誘導警備員 B [0.907]	12	人			R0900 00 080433
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配水管布設替工 Y2384					工種 第0002号表
資材費					Y3384
	1	式			工種 第0003号表
労務費					Y3384
	1	式			工種 第0004号表
土工費					Y3384
	1	式			工種 第0005号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
資材費 Y3384					工種 第0003号表
ダクタイル鋳鉄管 (内面珪粉粉体塗装) K形3種 100mm×4m	5	本			TZ0122 00 080433
ダクタイル鋳鉄管用継手 メカ形曲管 100×90°	4	個			F4001 00 080433
VCジョイント ロング 100	2	個			TZZ0091 00 080433
耐震型K形特殊押輪 100 30kN離脱防止性能	3	個			F4004 00 080433
識別マーカー 青色	1	個			F4002 00 080433
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
労務費 Y3384					工種 第0004号表
鋳鉄管吊込み据付工：機械 100	18.0	m			SZ0010 00 080433 施工 第0 -0001号表
メカニカル継手工 100 押輪	12	口			SZ0020 00 080433 施工 第0 -0003号表
メカニカル継手工 100 特殊押輪	3	口			SZ0020 00 080433 施工 第0 -0004号表
R R継手工 離脱防止金具 有り 100	2	口			SZ0320 00 080433 施工 第0 -0005号表
ポリエチレンスリーブ被覆工 100	18.0	m			SZ0120 00 080433 施工 第0 -0006号表
管明示テープ工：鋳鉄管 100×4000 天端明示無し	18.0	m			SZ0150 00 080433 施工 第0 -0007号表
管明示シート工 W150mm×50m 2倍	16.4	m			SZ0160 00 080433 施工 第0 -0008号表
通水試験工 給水車不使用	18.0	m			SZ1011 00 080433 施工 第0 -0009号表
*** 単位当たり ***	1	式			

土工費 Y3384					工種 第0005号表
土工 県道歩道舗装部 DIP-K 100 DP=2.0	14.4	m			V2001 00 080433 施工 第0 -0011号表
土工 県道歩道舗装部 DIP-K 100 DP=1.2	2.0	m			V2002 00 080433 施工 第0 -0034号表
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排泥工 Y2384					工種 第0006号表
資材費					Y3384
	1	式			工種 第0007号表
労務費					Y3384
	1	式			工種 第0008号表
土工費					Y3384
	1	式			工種 第0009号表
*** 単位当たり ***	1	式			

資材費 Y3384					工種 第0007号表
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 TS - VP (HI) 50×4m JIS K 6742	1	本			TZ2156 00 080433
塩ビ製継手 HIエルボ 50	3	個			TZ3116 00 080433
メカ型T字管付メタルシート仕切弁 DIP 100×VP 50	1	基			F4003 00 080433
弁筐関連資材 仕切弁継足棒 L-1000 四方向固定	1	本			TZZ0836 00 080433
仕切弁筐 + 継手 H=1440 ~ 1780	1	個			TZZ1817 00 080433
弁筐座台及び弁基礎用底板 弁筐座台(丸型再生プラスチック製) H=50	1	個			TZZ0928 00 080433
弁筐座台及び弁基礎用底板 弁基礎用底板(角形コンクリート製) W500×D300×H60	1	個			TZZ0929 00 080433
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
労務費 Y3384					工種 第0008号表
硬質塩化ビニル管据付工 5 0	3.2	m			SZ0300 00 080433 施工 第0 -0035号表
硬質塩化ビニル管切断工 5 0	4	口			SZ0500 00 080433 施工 第0 -0036号表
R R継手工 離脱防止金具 有り 5 0	1	口			SZ0320 00 080433 施工 第0 -0037号表
T S継手工 5 0	6	口			SZ0310 00 080433 施工 第0 -0038号表
仕切弁・ハ`ダイヤ弁設置工(縦・横型): 人力 5 0	1	基			SZ0570 00 080433 施工 第0 -0039号表
ねじ式弁筐設置工 A、B形 1号 底板 有り	1	箇所			SZ0690 00 080433 施工 第0 -0040号表
管明示テープ工: 硬質塩化ビニル管 5 0以下 天端明示無し	3.2	m			SZ0340 00 080433 施工 第0 -0041号表
管明示シート工 W150mm×5.0m 2倍	1.5	m			SZ0160 00 080433 施工 第0 -0008号表
*** 単位当たり ***	1	式			

土工費 Y3384					工種 第0009号表
排泥土工 県道歩道舗装部 H1VP 50 DP=2.0	1.5	m			V2003 00 080433 施工 第0 -0042号表
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不断水工 Y2384					工種 第0010号表
資材費					Y3384
	1	式			工種 第0011号表
労務費					Y3384
	1	式			工種 第0012号表
土工費					Y3384
	1	式			工種 第0013号表
*** 単位当たり ***	1	式			

資材費 Y3384					工種 第0011号表
不断水簡易H'設置工事 VP用 100 材料費					TZZ0185 00 080433
	1	個			
仕切弁筐類 口環付砂式弁筐(加FCD製・頭部 300) H=810-1260					TZZ0843 00 080433
	1	個			
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁筐座台(丸型再生プラスチック製) H=50					TZZ0928 00 080433
	1	個			
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁基礎用底版(角形コンクリート製) W500×D300×H60					TZZ0929 00 080433
	1	個			
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
労務費 Y3384					工種 第0012号表
ねじ式弁筐設置工 A、B形 1号 底板 有り	1	箇所			SZ0690 00 080433 施工 第0 -0040号表
調整データ		調整式			#0040
不断水簡易バルブ設置工事 VP用 100 工事費	1	箇所			TZZ0186 00 080433
*** 単位当たり ***	1	式			

土工費 Y3384					工種 第0013号表
不断水簡易弁土工 県道歩道部 100 DP=1.20	1	箇所			V3003 00 080433 施工 第0 -0043号表
*** 単位当たり ***	1	式			

雑工 Y2384					工種 第0014号表
労務費	1	式			Y3384 工種 第0015号表
土工費	1	式			Y3384 工種 第0016号表
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
労務費 Y3384					工種 第0015号表
硬質塩化ビニル管撤去工 100	16.4	m			SZ0300 00 080433 施工 第0 -0045号表
硬質塩化ビニル管切断工 100 撤去管	2	口			SZ0500 00 080433 施工 第0 -0046号表
*** 単位当たり ***	1	式			

土工費 Y3384					工種 第0016号表
試掘土工 県道歩道舗装部 L1.5m×W1.5m×H1.2m	1	箇所			V4001 00 080433 施工 第0 -0047号表
*** 単位当たり ***	1	式			

産業廃棄物処理料 Y2384					工種 第0017号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=7km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) 切断汚泥	0.3	m3			SZA260 00 080433 施工 第0 -0048号表
調整データ	1	調整式			#0040
産業廃棄物(中間処理) アスファルト	1.1	t			W0001
産業廃棄物(中間処理) As切断排水処分	0.4	t			W0002
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管吊込み据付工：機械 SZ0010 100	10	m			施工 第0 -0001号表
特殊作業員 [0.780]	0.070	人			R0020 0.07*1
普通作業員 [0.842]	0.130	人			R0030 0.13*1
クレーン付トラック運転 機 - 1 4 t積 2.9 t吊	1.210	h			SZ8060 1.21*1 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=2 100 C=1 少ない D=1 良好					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレンスリーブ被覆工 SZ0120 100	100	m			施工 第0 -0006号表
特殊作業員 [0.780]	0.300	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.300	人			R0030
ポリエチレンスリーブ 100 x 5.0m	125.000	m			TZ8012
粘着テープ t = 0.4mm W = 50mm	61.200	m			TZ8052
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 100 B=2 粘着テープ C=0 ポリエチレンスリーブ割増係数 D=0 固定バンド割増係数					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 SZ1011 給水車不使用	1	m			施工 第0 -0009号表
通水試験工 既設管と連絡して給水車が不要の場合	1.000	日			SZ1010 施工 第0-0010号表
諸雑費	1	式			#99
m当たり		m			+00
*** 単位当たり ***	1	m			
A=5 給水車不使用					

通水試験工 SZ1010 既設管と連絡して給水車が不要の場合	1	日			施工 第0 -0010号表
特殊作業員 [0.780]	3.000	人			R0020
普通作業員 [0.842]	3.000	人			R0030
器具損料及び諸雑費	20.000	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 既設管と連絡して給水車が不要の場合					

施 工 内 訳 表

頁0-0021

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工 V2001 県道歩道舗装部 DIP-K 100 DP=2.0	1	m			施工 第0-0011号表 特単単価適用日：08年04月33日
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	2	m			SPD321 施工 第0-0012号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³) 舗装厚 0cm超え10cm以下	0.6	m ²			SZA231 施工 第0-0013号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=7.8km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	0.018	m ³			SZA260 施工 第0-0015号表
機械掘削工 刈-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	1.2828	m ³			SZA211 施工 第0-0017号表
機械埋戻工 刈-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	0.2098	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
機械埋戻工 刈-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	1.002	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
路盤工 上層路盤 一層仕上り厚さ 10cm	0.6	m ²			SZA240 施工 第0-0021号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 細粒度(13) 再生アスファルト合材を使用する	0.6	m ²			SZA320 施工 第0-0023号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=2km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	1.2828	m ³			SZA260 施工 第0-0026号表
整地 残土受け入れ地での処理	1.2828	m ³			SPA109 施工 第0-0027号表
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m ³)	0.2797	t			TU360
再生骨材(骨材)クラッシュラン RC-40	1.2725	m ³			T8454

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 700.44 機械構成比：	15cm以下		施工 第0 -0012号表 1 m 材料構成比： 26.52% 市場単価構成比：	0.00%
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.24%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.96%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		10.88%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.842]		8.92%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		22.39%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.81%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 3 - 1				

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 SZK506 機 - 2.2 4 t 積級	1	日			施工 第0 -0016号表
運転手 (一般) [0.813]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	32.000	L			T0250
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	1.290	供用日			MA302
ダンプトラックタイヤ損耗 4 t 路面状況 良好 【損料表】	1.290	供用日			K1013
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 4 t 積級 B=1 補正なし C=1 タイヤの損耗状態 良好 D=1 運転労務数量 E=32 燃料消費量					
F=1.29 機械損料数量					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械掘削工 SZA211 加-5型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0-0017号表
土木一般世話役 [0.753]	1.900	人			R0010
普通作業員 [0.842]	5.000	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山0.28m3 (平積0.2m3)	11.100	h			SZ8020 施工 第0-0018号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 加-5型 山0.28m3 (平0.2m3)					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械埋戻工 SZA221 ㊦-㊦型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0-0019号表
土木一般世話役 [0.753]	2.500	人			R0010
普通作業員 [0.842] 埋戻し+締固め	6.800	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山0.28m3 (平積0.2m3)	7.600	h			SZ8020 施工 第0-0018号表
タンバ運転 機 - 31 60~80kg	3.000	日			SZK511 施工 第0-0020号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ㊦-㊦型 山0.28m3 (平0.2m3)					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路盤工 SZA240 上層路盤 一層仕上り厚さ 10cm	100	m2			施工 第0 -0021号表
普通作業員 [0.842]	0.780	人			R0030
再生骨材(骨材)クラッシュラン RC - 40	12.700	m3			T8454
タンバ運転 機 - 31 60 ~ 80kg	0.450	日			SZK511 施工 第0-0022号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 施工幅 1.8m未満 B=2 上層路盤 C=10 一層仕上り厚さ(cm) D=1 再生骨材 E=2 振動ロー 排出ガス対策型(第1基) 使用					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装工(人力) / 車道・路肩 SZA320 細粒度(13) 再生アスファルト合材を使用する	100	m2			施工 第0-0023号表
土木一般世話役 [0.753]	0.400	人			R0010 100/250
特殊作業員 [0.780]	0.800	人			R0020 200/250
普通作業員 [0.842]	1.600	人			R0030 400/250
再生材アスファルト合材 細粒度(13) 最大粒径13mm	7.383	t			T8430
アスファルト乳剤 PK-3プライム用、PK-4タック用	126.000	L			T0211
振動ローラ運転 機-23 ハンドガイド式 0.5~0.6t	0.400	日			SZK593 100/250 施工 第0-0024号表
振動コンパクト運転 機-23 前進型 40~60kg	0.800	日			SZK730 200/250 施工 第0-0025号表
砂散布費	3.000	%			#01
諸雑費	17.000	%			#09
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=3 仕上り厚(cm) B=1 細粒度(13) C=1 混合AS使用しない D=2 プライムコート E=1 砂散布が必要					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
F=2 再生アスファルト合材を使用する					

振動ローラ運転 SZK593 機 - 2.3 ハンドガイド式 0.5~0.6t	1	日			施工 第0 -0024号表
特殊作業員 [0.780]	1.000	人			R0020
軽油 ミニローラー（パトロール給油）	3.000	L			T0250
振動ローラ [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6t	1.230	供用日			MD130
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 ハンドガイド式 0.5~0.6t B=3 燃料消費量 C=1.23 機械損料数量					

施 工 内 訳 表

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土留工(軽量鋼矢板たて込み)(両側分)：機械 SZA020 掘削深 2.5m以下 軽量金属製支保工	100	m			施工 第0-0028号表
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)：機械 掘削深 2.5m以下 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	100.000	m			SZA041 施工 第0-0029号表
軽量鋼矢板引抜き工(両側分)：機械 掘削深 2.5m以下 トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊	100.000	m			SZA045 施工 第0-0030号表
支保工(軽量金属製) 設置撤去 2段：3.5m以下 軽量金属腹起し材 水圧式パイプサポート	100.000	m			SZA065 施工 第0-0031号表
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 建込み・引抜き B=3 掘削深 2.5m以下 C=3 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³) D=2 ハックル 排ガス対策型(第1次基準値)使用 E=2 軽量金属製支保工(J,K,L,M条件選択)					
F=1 木製支保工：設置撤去 G=1 木矢板 2.0m未満 H=0 木製支保工：腹起し材数量(本/100m) I=0 木製支保工：切りばり材数量(m ³ /100m) J=1 軽量金属製支保工：設置撤去					
K=2 2段：3.5m以下 L=1 軽量金属腹起し材 M=1 水圧式パイプサポート N=1 トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板たて込み工(両側分) : 機械 SZA041 掘削深 2.5m以下 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	100	m			施工 第0-0029号表
土木一般世話役 [0.753]	2.400	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	2.400	人			R0020
普通作業員 [0.842]	7.200	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山0.28m ³ (平積0.2m ³)	12.500	h			SZ8020 施工 第0-0014号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 掘削深 2.5m以下 B=1 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³) C=2 排出ガス対策型(第1次基準値) 使用					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板引抜工(両側分)：機械 SZA045 掘削深 2.5m以下 トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊	100	m			施工 第0 -0030号表
土木一般世話役 [0.753]	0.900	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.900	人			R0020
普通作業員 [0.842]	2.700	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	1.000	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 B=1 掘削深 2.5m以下 トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
腹起し材設置撤去工 SZA070 軽量金属腹起し材 2段：3.5m以下	100	m			施工 第0 -0032号表
世話役（設置） [0.753]	0.800	人			R0010
世話役（撤去） [0.753]	0.600	人			R0010
特殊作業員（設置） [0.780]	0.800	人			R0020
特殊作業員（撤去） [0.780]	0.600	人			R0020
普通作業員（設置） [0.842]	2.400	人			R0030
普通作業員（撤去） [0.842]	1.800	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置撤去 B=2 軽量金属腹起し材 2段：3.5m以下					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
切梁材設置撤去工 SZA080 水圧式ハブ機 2段：3.5m以下	100	m			施工 第0 -0033号表
世話役（設置） [0.753]	0.400	人			R0010
世話役（撤去） [0.753]	0.400	人			R0010
特殊作業員（設置） [0.780]	0.400	人			R0020
特殊作業員（撤去） [0.780]	0.400	人			R0020
普通作業員（設置） [0.842]	1.200	人			R0030
普通作業員（撤去） [0.842]	1.200	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置撤去 B=2 水圧式ハブ機 2段：3.5m以下					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工 V2002 県道歩道舗装部 DIP-K 100 DP=1.2	1	m			施工 第0-0034号表 特単単価適用日：08年04月33日
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	2	m			SPD321 施工 第0-0012号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³) 舗装厚 0cm超え10cm以下	0.6	m ²			SZA231 施工 第0-0013号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=7.8km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	0.018	m ³			SZA260 施工 第0-0015号表
機械掘削工 刈型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	0.8028	m ³			SZA211 施工 第0-0017号表
機械埋戻工 刈型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	0.2098	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
機械埋戻工 刈型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	0.522	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
路盤工 上層路盤 一層仕上り厚さ 10cm	0.6	m ²			SZA240 施工 第0-0021号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 細粒度(13) 再生アスファルト合材を使用する	0.6	m ²			SZA320 施工 第0-0023号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=2km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	0.8028	m ³			SZA260 施工 第0-0026号表
整地 残土受け入れ地での処理	0.8028	m ³			SPA109 施工 第0-0027号表
クリッカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m ³)	0.2797	t			TU360
再生骨材(骨材)クラッシュラン RC-40	0.6629	m ³			T8454

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当たり ***	1	m			

硬質塩化ビニル管据付工 SZ0300 5 0	10	m			施工 第0 -0035号表
特殊作業員 [0.780]	0.100	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.180	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=7 5 0					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁・バタフライ弁設置工(縦・横型)：人力 SZ0570 5 0	1	基			施工 第0 -0039号表
特殊作業員 [0.780]	0.030	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.150	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 5 0 B=1 設置					

ねじ式弁筐設置工 SZ0690 A、B形 1号 底板 有り	1	箇所			施工 第0 -0040号表
普通作業員 [0.842]	0.040	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 A、B形 1号 B=2 底板 有り (A、B形の場合のみ選択可) C=1 設置					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排泥土工 V2003 県道歩道舗装部 H1VP 50 DP=2.0	1	m			施工 第0 -0042号表 特単単価適用日：08年04月33日
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	2	m			SPD321 施工 第0-0012号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) 舗装厚 0cm超え10cm以下	0.6	m2			SZA231 施工 第0-0013号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=7.8km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3)	0.018	m3			SZA260 施工 第0-0015号表
機械掘削工 ｸｰﾗ型 山0.28m3(平0.2m3)	1.248	m3			SZA211 施工 第0-0017号表
機械埋戻工 ｸｰﾗ型 山0.28m3(平0.2m3)	0.1831	m3			SZA221 施工 第0-0019号表
機械埋戻工 ｸｰﾗ型 山0.28m3(平0.2m3)	1.002	m3			SZA221 施工 第0-0019号表
路盤工 上層路盤 一層仕上り厚さ 10cm	0.6	m2			SZA240 施工 第0-0021号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 細粒度(13) 再生アスファルト合材を使用する	0.6	m2			SZA320 施工 第0-0023号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=2km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3)	1.248	m3			SZA260 施工 第0-0026号表
整地 残土受け入れ地での処理	1.248	m3			SPA109 施工 第0-0027号表
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m3)	0.2441	t			TU360
再生骨材(骨材)クラッシュラン RC-40	1.2725	m3			T8454

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不断水簡易弁土工 V3003 県道歩道部 100 DP=1.20	1	箇所			施工 第0-0043号表 特単単価適用日：08年04月33日
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	5.3	m			SPD321 施工 第0-0012号表
舗装版直接掘削積み込み工 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³) 舗装厚 0cm超え10cm以下	1.7	m ²			SZA231 施工 第0-0013号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=7.8km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	0.05	m ³			SZA260 施工 第0-0015号表
機械掘削工 加-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	1.6	m ³			SZA211 施工 第0-0017号表
床掘り 土砂 現場制約あり	0.8	m ³			SPA161 施工 第0-0044号表
機械埋戻工 加-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	0.8	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
機械埋戻工 加-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	1.8	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
路盤工 上層路盤 一層仕上り厚さ 10cm	1.7	m ²			SZA240 施工 第0-0021号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 細粒度(13) 再生アスファルト合材を使用する	1.7	m ²			SZA320 施工 第0-0023号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=2km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	2.4	m ³			SZA260 施工 第0-0026号表
整地 残土受け入れ地での処理	2.4	m ³			SPA109 施工 第0-0027号表
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m ³)	1.0	t			TU360

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管撤去工 SZ0300 100	10	m			施工 第0 -0045号表
特殊作業員 [0.780]	0.120	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.200	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
撤去の補正					+00
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 撤去 B=9 100					

施 工 内 訳 表

頁0-0059

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
試掘土工 V4001 県道歩道舗装部 L1.5m×W1.5m×H1.2m	1	箇所			施工 第0-0047号表 特単単価適用日：08年04月33日
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	6	m			SPD321 施工 第0-0012号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³) 舗装厚 0cm超え10cm以下	2.25	m ²			SZA231 施工 第0-0013号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=7.8km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	0.0675	m ³			SZA260 施工 第0-0015号表
機械掘削工 刈-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	2.6325	m ³			SZA211 施工 第0-0017号表
機械埋戻工 刈-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	0.45	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
機械埋戻工 刈-ラ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	1.9575	m ³			SZA221 施工 第0-0019号表
路盤工 上層路盤 一層仕上り厚さ 10cm	2.25	m ²			SZA240 施工 第0-0021号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 細粒度(13) 再生アスファルト合材を使用する	2.25	m ²			SZA320 施工 第0-0023号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=2km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	2.6325	m ³			SZA260 施工 第0-0026号表
整地 残土受け入れ地での処理	2.6325	m ³			SPA109 施工 第0-0027号表
クリッカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m ³)	0.6	t			TU360
再生骨材(骨材)クラッシュラン RC-40	2.486	m ³			T8454

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当たり ***	1	箇所			

ダンプ運搬工 (4 t 積車) SZA260 運搬距離 L = 7km クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平 0 . 2 0 m3)	1	m3			施工 第0 -0048号表
ダンプトラック運転 機 - 2 2 4 t 積級	0.800	日			SZK506 0.8*1 施工 第0-0016号表
1 0 m3当り 1 m3当り		m3			+00
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=7 運搬距離 (km) B=2 ダンプトラック 4 t 積車 C=3 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平 0 . 2 0 m3) D=1 土砂 E=1 D I D 区間 : なし					
F=1 良 好					

工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工 第0 -0049号表
工事名標示板加算額 (木材使用 ・ 据付撤去含む)	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 土木工事標準積算基準 - 2 -	- 2 4				

数量計算書

下水道関連事業配水管布設替(大木戸字松島地区)工事

南相馬市建設部水道課

1. 配水管布設替工

種 別	項 目		数 量	単 位
(資 材)				
K形ダクタイル 鑄鉄管	φ100×4,000L	3 + 2切管	5	本
ダクタイル鑄鉄管用継手 (メカ型曲管)	φ100×90°		4	個
VC ジョイント	φ100		2	個
耐震型K形特殊押輪	φ100 3DkN離脱防止性能		3	個
識別マーカー	青色		1	個
(工 料)				
鑄鉄管布設工	φ100		18.0	m
鑄鉄管継手工 (メカニカル継手)	φ100		12	口
鑄鉄管継手工 (特殊押輪)	φ100		3	口
RR 継手工	離脱防止φ100		2	口
鑄鉄管切断工	φ100		6	口
ポリスリーブ被覆工	φ100		18.0	m
管明示テープ取付工	ダクタイル鑄鉄管 φ100×4000		18.0	m
明示シート布設工			16.4	m
通水試験工			18.0	m

種 別	項 目		数 量	単 位
(土 工)	土工① 県道歩道舗装部 (DIP-Kφ100 DP=2.0m)		14.4	m
舗 装 切 断 工	t=3cm	14.4 × 2.0000	28.8	m
舗 装 取 壊 工	t=3cm	14.4 × 0.6000	8.6	m ²
A s ガ ラ 運 搬		14.4 × 0.0180	0.3	m ³
産 廃 処 理	As	14.4 × 0.0423	0.6	t
機 械 掘 削 工		14.4 × 1.2828	18.5	m ³
埋 戻 工	クリンカアッシュ	14.4 × 0.2098	3.0	m ³
埋 戻 工	RC-40	14.4 × 1.0020	14.4	m ³
歩 道 路 盤 工	RC-40 t=10cm	14.4 × 0.6000	8.6	m ²
仮 復 旧 工	再生細粒度As13 t=3cm	14.4 × 0.6000	8.6	m ²
残 土 処 理 工		14.4 × 1.2828	18.5	m ³
残 土 運 搬 工		14.4 × 1.2828	18.5	m ³
ク リ ン カ ア ッ シ ュ		14.4 × 0.2797	4.0	t
	RC-40	14.4 × 1.2725	18.3	m ³
仮 設 土 留 鋼 矢 板 工	軽量鋼矢板 支保2段 H=2.16m W=0.60m		14.4	m

種 別	項 目		数 量	単 位
(土 工)	土工② 市道車道舗装部 (DIP-Kφ100 DP=1.2m)		2.0	m
舗 装 切 断 工	t=3cm	2.0 × 2.0000	4.0	m
舗 装 取 壊 工	t=3cm	2.0 × 0.6000	1.2	m ²
A s ガ ラ 運 搬		2.0 × 0.0180	0.0	m ³
産 廃 処 理	As	2.0 × 0.0423	0.1	t
機 械 掘 削 工		2.0 × 0.8028	1.6	m ³
埋 戻 工	クリンカアッシュ	2.0 × 0.2098	0.4	m ³
埋 戻 工	RC-40	2.0 × 0.5220	1.0	m ³
歩 道 路 盤 工	RC-40 t=10cm	2.0 × 0.6000	1.2	m ²
仮 復 旧 工	再生細粒度As13 t=3cm	2.0 × 0.6000	1.2	m ²
残 土 処 理 工		2.0 × 0.8028	1.6	m ³
残 土 運 搬 工		2.0 × 0.8028	1.6	m ³
ク リ ン カ ア ッ シ ュ		2.0 × 0.2797	0.6	t
	RC-40	2.0 × 0.6629	1.3	m ³

2. 排泥工

種 別	項 目		数 量	単 位
(資 材)				
硬質塩化ビニル管	(HI) $\phi 50 \times 4,000L$	1切管	1	本
T S エ ル ポ	(HI) $\phi 50$		3	個
メタルシート仕切弁 (メカ型T字管付)	DIP $\phi 100 \times VP \phi 50$		1	基
継 足 棒	L-1000		1	本
仕 切 弁 筐 (中 間 継 手 込)	H=1440~1780		1	個
弁 筐 座 台	丸形再生プラスチック H=50		1	個
弁 基 礎 用 底 版	角型コンクリート製 W500*D300*H60		1	個
(工 料)				
塩ビ管布設工	$\phi 50$		3.2	m
塩ビ管切断工	$\phi 50$		4	口
RR 継手工	離脱防止 $\phi 50$		1	口
T S 継手工	$\phi 50$		6	口
仕切弁設置工	$\phi 50$		1	基
仕切弁筐設置工			1	箇所
管明示テープ取付工	$\phi 50 VP$		3.2	m
明示シート布設工			1.5	m

種 別	項 目		数 量	単 位
(土 工)	排泥土工 市道車道舗装部 (HIVPφ50 DP=2.0)		1.5	m
舗装切断工	t=3cm	1.5 × 2.0000	3.0	m
舗装取壊工	t=3cm	1.5 × 0.6000	0.9	m ²
Asガラ運搬		1.5 × 0.0180	0.0	m ³
産廃処理	As	1.5 × 0.0423	0.1	t
機械掘削工		1.5 × 1.2480	1.9	m ³
埋戻工	クリンカアッシュ	1.5 × 0.1831	0.3	m ³
埋戻工	RC-40	1.5 × 1.0020	1.5	m ³
歩道路盤工	RC-40 t=10cm	1.5 × 0.6000	0.9	m ²
仮復旧工	再生細粒度As13 t=3cm	1.5 × 0.6000	0.9	m ²
残土処理工		1.5 × 1.2480	1.9	m ³
残土運搬工		1.5 × 1.2480	1.9	m ³
クリンカアッシュ		1.5 × 0.2441	0.4	t
RC-40		1.5 × 1.2725	1.9	m ³
仮設土留鋼矢板工	軽量鋼矢板 支保2段 H=2.11m W=0.60m		1.5	m

3. 不断水工

種 別	項 目	数量	単 位
(資 材)			
不断水簡易バルブ	VP用 φ100	1	基
仕 切 弁 筐	H=810~1260	1	組
弁 筐 座 台	丸形再生プラスチック H=50	1	個
弁 基 礎 用 底 版	角型コンクリート製 W500*D300*H60	1	個
(工 料)			
不断水簡易バルブ設置工	VP用 φ100	1	箇所
仕切弁筐設置工		3	箇所

種 別	項 目		数 量	単 位
(土 工)	不断水簡易弁土工 市道部		1	箇所
舗 装 切 断 工	t=3cm	$(1.47+1.20) \times 2$	5.3	m
舗 装 取 壊 工	t=3cm	1.47×1.20	1.7	m ²
A s ガ ラ 運 搬		1.764×0.03	0.05	m ³
産 廃 処 理	As	$1.764 \times 0.03 \times 2.35$	0.1	t
機 械 掘 削 工		$1.47 \times 1.20 \times 0.97$	1.6	m ³
人 力 掘 削 工		$1.47 \times 1.20 \times 0.468$ $-0.118 \times 0.118 \times \pi \times 1/4 \times 1.47$	0.8	m ³
埋 戻 工	クリンカアッシュ	$1.47 \times 1.20 \times 0.468$ $-0.118 \times 0.118 \times \pi \times 1/4 \times 1.47$	0.8	m ³
埋 戻 工	RC-40	$1.47 \times 1.20 \times 1.07$	1.8	m ³
歩 道 路 盤 工	RC-40 t=10cm	1.47×1.20	1.7	m ²
仮 復 旧 工	再生細粒度As13 t=3cm	1.47×1.20	1.7	m ²
残 土 処 理 工		1.6 + 0.8	2.4	m ³
残 土 運 搬 工		1.6 + 0.8	2.4	m ³
クリンカアッシュ		$0.8 \times 1.0/0.9 \times 1.2$	1.0	m ³
RC-40		1.8×1.27	2.2	m ³

4. 雑工

種 別	項 目	数 量	単 位
(工 料)			
既 設 管 撤 去 工 (塩 化 ビ ニ ル 管)	φ100	16.4	m
塩 ビ 管 切 断 工	φ100	2	口

種 別	項 目		数量	単 位
(土 工)	試掘土工 県道歩道舗装部 (L1.5m×W1.5m×H1.2m)		1	箇所
舗装切断工	t=3cm	1.0 × 6.0000	6.0	m
舗装取壊工	t=3cm	1.0 × 2.2500	2.3	m ²
Asガラ運搬		1.0 × 0.0675	0.1	m ³
産廃処理	As	1.0 × 0.1586	0.2	t
機械掘削工		1.0 × 2.6325	2.6	m ³
埋戻工	クリンカアッシュ	1.0 × 0.4500	0.5	m ³
埋戻工	RC-40	1.0 × 1.9575	2.0	m ³
歩道路盤工	RC-40 t=10cm	1.0 × 2.2500	2.3	m ²
仮復旧工	再生細粒度As13 t=3cm	1.0 × 2.2500	2.3	m ²
残土処理工		1.0 × 2.6325	2.6	m ³
残土運搬工		1.0 × 2.6325	2.6	m ³
クリンカアッシュ		1.0 × 0.6000	0.6	t
RC-40		1.0 × 2.4860	2.5	m ³

5. 産業廃棄物処理料

種 別	項 目		数 量	単 位
産業廃棄物処理料			1.0	式
産業廃棄物(中間処理)	アスファルト殻		1.1	t
産業廃棄物(中間処理)	アスファルト切断排水処分	$47.1/240*1.8*0.85*1.4$	0.4	t
泥水運搬工	アスファルト切断排水	$47.1/240*1.8*0.85$	0.3	m ³
		【参考】		
		As切断工日施工量	240.0	m
		As切断時の使用水量	1.8	m ³
		使用水回収率	0.85	
		As切断排水単位体積重量	1.4	t/m ³

6. 交通誘導員算定

種 別	項 目		数 量	単 位
(1) 配水管布設替工	18m÷20m/日	1日 × 2	2	人
(2) 排 泥 工	1箇所÷1箇所/日	1日 × 2	2	人
(3) 不 断 水 工	1箇所÷1箇所/日	1日 × 2	2	人
(4) 既設管撤去工	16.4m÷20m/日	1日 × 2	2	人
(5) 通水試験工		1日 × 2	2	人
(6) 試 掘 工	1箇所÷1箇所/日	1日 × 2	2	人
合 計			12	人

特記仕様書

工事番号： 2026000449
路線河川名： 県道原町浪江線
工事名： 下水道関連事業配水管布設替（大木戸字松島地区）工事
工事施工箇所： 南相馬市原町区大木戸字松島地内外

- 1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編」に基づき実施しなければならない。
- 2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。
ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。
 - ・第20章 情報共有システム・遠隔臨場
 - ・~~第21章 労働者確保に関する積算方法の試行工事~~
 - ・~~第22章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）~~
 - ・第23章 週休2日確保モデル工事等
 - ・~~第24章 建設キャリアアップシステム活用工事~~
 - ・~~第25章 ふくしまME資格取得者の現場活用~~
 - ・~~第26章 法定外の労災保険の付保~~
 - ・第27章 異常気象時における現場状況の報告
 - ・第28章 再生資源利用計画書
 - ・第29章 再生資源利用促進計画書
 - ・第30章 その他
- 3 第2章～第3章、第9章～第25章、第29章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。
※ 福島県ホームページ>組織でさがす>技術管理課>特記仕様書
- 4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。
- 5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図面名	図面番号	葉数	適用
平面図・配管詳細図・標準土工図		1	
不断水工詳細図		1	
標準施設図・仮設土留工標準図		1	
計		全 3 葉	

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図面名	図面番号	葉数	適用
計	全葉		

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

南相馬市水道課

第1章 一般共通事項

- 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------|----------------------------|---|---------------------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 5) その他 () | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |

2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 有 ・ 無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

~~4 河道掘削に伴う工事測量~~

~~河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。~~

~~第2章 フレックス工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。~~

~~第3章 準備期間確保工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる工事である。~~

第4章 総 則

1 施工計画書

工程管理はバーチャートにより行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

2 工事用地等の使用

- 1) _____作業に係るヤードとして、別添「_____図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

- 2) 使用にあたっての条件、制限等

施工機械・資材置場等は請負者にて、施工場所近傍に確保のこと。

に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事 (工種)で2)に 示すもの	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2) に示す工事 (工種)
③工期が1年以上 となる工事。	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・協議による。	
④その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3) に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。
また必要に応じ実施時期を修正すること。

2) ②不可視部の工事(工種)とは次のものとする。

- 杭基礎、場所打杭、深礎杭、ケーソン基礎、地盤改良
- 捨石均し、被覆・根固め均し、井筒潜函基礎、山腹基礎床掘
- 上層路盤(1,000m²以上の工事)
- 現場打ちのボックスカルバート、擁壁(鉄筋Co)
- 橋台・橋脚、現場制作PC橋、床版
- 水門・樋門
- ブロック製作、ケーソン製作
- 覆工Coの前段工事
- その他【 】

3) ④その他、発注者が必要とする工種(工事)とは次のものとする。

- 桁の仮組立
- 水門扉、可動堰、スノーシェッド、ポンプ施設、除塵機、栈橋
- 堰堤(Co、盛土)
- 堰(工場制作)、ラバーダム
- 地盤変動等の影響が予想される掘削
- 仮橋、路面覆工(一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
- 仮堤防(本堤防と同等の機能を求める仮堤防)
- その他【 】

8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考
施工延長、縦横断測量等	起工測量	起工測量後	
変更資材も含む	資材検査	資材搬入後	
穿孔コア確認、水圧テスト実施	不断水工	不断水工実施時	
継手チェックシート提出	管布設・継手工	管布設時	
水圧試験実施前後、通水及びブロー	水圧試験	布設工事完了後	
手直しが生じた場合は再検査	完了検査	完成日前に1回	
必要に応じ、別途指示する	その他	監督員の指示	

9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

1) 出来形管理

工種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所
起工測量			
資材検査			
不断水工			

2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等
水圧試験			
継手チェックシート			

3) 写真管理

工種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘要

11 用地取得及び支障物件

1) 工事区域内の用地確保 (済 ・ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 _____ 年 _____ 月 (上旬 中旬 下旬)

□ 2) 工事支障物件： □有 ・ □無

【支障物件移転予定時期】 _____ 年 _____ 月 (□上旬 □中旬 □下旬)

□ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、_____に監督員に提出すること。
なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。
また、協議様式は、監督員の指示によること。

☑ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は 施工箇所 に 2 人 配置する。
交替要員は _____ 人 配置する。
なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☑ 14 作業工程

- 1) 全ての 作業は、昼間 とし、時間帯は 8:30 ~ 17:00 時までとする。
- 2) 作業工程における注意事項：
断水については、住民の方及び近接する工事との調整が必要になります。
- 3) 現道の使用規制について
現道は、片側交互通行 により本工事を施工するものとする。
- 4) 工事を施工しない日 □ 有 ・ □ 無 _____ 年 _____ 月 _____ 日
工事を施工しない時間帯 □ 有 ・ □ 無 _____ : _____ ~ _____ : _____
「工事を施工しない時間帯」は、
□ 工期全体 □ 上記「工事を施工しない日」 □ _____ に適用する。

☑ 15 仮設

☑ 1) 指定仮設の有無 ☑ 有 ・ □ 無

☑ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考
軽量鋼矢板	LSP2 型 H=2000~2500		

□ 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： _____ 数量等： _____
存置期間： _____

□ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する

内容から選択して実施すること。

計上 費目	実施する 項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舍の快適化 ③ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) ② 盗難防止対策(警報器等) ③ 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	()	① 完成予想図 ② 工法説明図 ③ 工事工程表 ④ デザイン工事看板(各工事PR看板含む) ⑤ 見学会等の開催(イベント等の実施含む) ⑥ 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 ⑦ パンフレット・工法説明ビデオ ⑧ 地域対策費(地域行事等の経費を含む) ⑨ 社会貢献

□ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を_____基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)

本工事は、「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(六価クロム溶出試験対象工種及び検体数)

工種	工法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

(タンクリーチング試験対象工種及び検体数)

工種	工法	検体数	備考
		検体	
		検体	
		検体	

□第5章 材 料

□1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

□3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

☑第6章 一般施工

☑1 建設発生土の処理

1) 他工事への流用： 有 ・ 無

工事名： _____ 路河川名： _____

施工場所： _____ 市・郡 _____ 町・村 _____ 大字 _____ 字 _____ 地内 _____

運搬距離 _____ km

2) 搬出先

受入場所： _____ 市・郡 _____ 町・村 _____ 大字 _____ 字 _____ 地内 _____

運搬距離 _____ 2 _____ km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

2 他工事からの流用土

1) 他工事からの流用： 有 ・ 無

① 工事名： _____ 路河川名： _____

② 指定・施工場所： _____ 市・郡 _____ 町・村 _____ 大字 _____ 字 _____ 地内 _____

③ 運搬の有無： 有 ・ 無 (_____ km)

④ 品 質： _____

品質の確認試験 (_____) については、 _____ で実施する。

3 購入土等

1) 購入土等の有無： 有 ・ 無

2) 購入土等の種類： 購入土 ・ 岩ズリ ・ その他 (_____)

3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

4) 購入土等が1工事あたり1,000m³以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

4 建設汚泥（泥土）の処理

1) 汚泥（泥土）は、 _____ による改良を行い、 _____ として再利用する。

2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における _____ とする。

3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。

なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。

4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

5 レディーミクストコンクリートの養生

1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行

うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	<input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント
	<input type="checkbox"/> 混合セメントB種 <input type="checkbox"/> 高炉セメントB種 ¹⁾ <input type="checkbox"/> フライアッシュセメントB種 <input type="checkbox"/> シリカセメントB種
	<input type="checkbox"/> 早強ポルトランドセメント
気象条件	<input type="checkbox"/> 暑中コンクリート(日平均気温が25℃を超える場合)
	<input type="checkbox"/> 寒中コンクリート(日平均気温が4℃以下になる場合) <input type="checkbox"/> 連続して、あるいはしばしば 構造物の露出状態 <input type="checkbox"/> 水で飽和される部分 ²⁾ <input type="checkbox"/> 普通の露出状態

1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

☐6 塗装工

☐1) 塗装回数は下塗____回、中塗____回、上塗____回とする。

☐2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り1層		
	下塗り2層		
	中塗り1層		
現場塗装	中塗り2層		
	上塗り1層		
	上塗り2層		

☐3) 素地調整(ケレン)は_____とする。

☐4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

☐7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

☐1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。

☐2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

□第7章 その他施工

□1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備 考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位1日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位1メートルにつき回)	該当欄
第1種、第2種	3,000 以上	3,000	
第3種第1級及び第2級	3,000 未満	1,500	
第4種第1級			
その他		500	
	交差点等耐流動対策混合物として使用	1,500	

□5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が50万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。
また、工事完成届提出時までには、植樹保険付保証明書を出さなければならない。

□6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第8章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編 I」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のレ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事をを行う基本方針(指針P13)

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ② 右利き、左利きに対応した施設
- ③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ⑪ 利用者に不自然な姿勢を強めない施設
- ⑫ プライバシーに配慮された施設
- ⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ① 使い方を直感的に理解できる施設
- ② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ⑥ 危険な部分が防護されている施設

- ⑦ 四季を通じて安全な施設
- ⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ② 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ④ 情報がその重要性に応じて提供される施設
- ⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

- 2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

□第9章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路構造物の記録保存資料
- 2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路舗装構成等の記録保存資料

□第10章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□第11章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、△△工区（施工箇所○○）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）
（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所○○）とする。）

□第12章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第13章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事の発注方式は (受注者希望型 ・ 発注者指定型) である。

□2 ICT活用工事(土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工等)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工)」の対象工事である。

□3 ICT活用工事(舗装工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(舗装工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(舗装工)」の対象工事である。

□4 ICT活用工事(浚渫工(港湾))

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(浚渫工(港湾))」の対象工事である。

□5 ICT活用工事(土工1,000m³未満)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工1,000m³未満)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工1,000m³未満)」の対象工事である。

□6 ICT活用工事(小規模土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(小規模土工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(小規模土工)」の対象工事である。

☑第14章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

~~☑第15章 「総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

☑第16章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

i) 作業不能日数：4日間

ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方相馬（福島）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（令和2年～6年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したもの。

iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方相馬（福島）地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

3 基準とする気象庁の気象観測所は施工現場によって次のとおりとする。

i) 施工現場が小高区の場合 「浪江」

ii) 施工現場が鹿島区及び原町区の場合 「相馬」

~~☑第17章 三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

~~☑第18章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

~~本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事
令和〇年〇月〇日まで 時間帯〇:〇〇～〇:〇〇
河川(交付)工事(開削)
発注者 福島県〇〇建設事務所 〇〇課
施工者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

第19章 電子納品

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~電子納品保管管理システムへのオンライン納品は、電子媒体納品書を監督員に提出し、成果品が登録済みであることの確認を受けることで完了とする。~~

第20章 情報共有システム、遠隔臨場

（本章はすべての工事に該当する）

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報共有システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電子媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、「南相馬市建設工事情報共有システム実施要領」によること。

第2-1章 労働者確保に関する積算方法の試行工事

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％~~

~~□2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％~~

第2-2章 快適トイレの設置

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページ『快適トイレの設置について』『土木部発注工事における快適トイレの設置に関する運用』を参照のこと)~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。当初設計においては、~~

~~□ 快適トイレ □ 快適トイレ男女一体型（ハウス型）~~

~~設置基数：__○__基 設置期間：__○. __○__月として計上している。~~

~~現場に快適トイレを設置しない場合は、発注者と協議すること。~~

~~現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、上記設置基数以上の快適トイレを設置する場合は、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

~~また、実際に現場へ快適トイレを設置した期間が確認できる資料を監督員に提示すること。~~

第2-3章 週休2日確保モデル工事等

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」「南相馬市発注工事における「週休2日確保モデル工事」試行要領」に定める工事のうち、としている箇所の対象工事である。~~

~~「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 月単位 完全週休2日~~

~~「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 月単位 完全週休2日~~

~~なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「完全週休2日」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。~~

~~また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。~~

第24章 ~~建設キャリアアップシステム活用工事~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

- ~~1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~
- ~~2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~
~~(※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照)~~

第25章 ~~ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

第26章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第27章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、

FAX又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

第28章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第29章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書(※技術管理課ホームページ参照)の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。(※試行要領は技術管理課ホームページ参照)

4 受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

☑第29章 その他

(1) 工事書類の簡素化について

1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。

2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

(2) 電子納品について

1. 本工事の提出書類について、可能な範囲で電子媒体（情報共有システム（ASP）・CD、DVD）による納品を行うものとする。
2. 電子納品の対象となる成果品の種類や提出方法の詳細については、受注者と監督員が別途協議して決定するものとする。
3. 電子納品により省資源・省スペース化や業務時間削減を目的としていることから、発注者・受注者両者の負担とならない範囲で実施することとする。
4. 工事の電子納品に係る費用については、共通仮設費率に含まれるものとし、別途計上しない。

(3) 農地法許可手続

資材置き場、現場事務所、残土捨場等に農地を使用する場合は、農地法の許可を得ること。

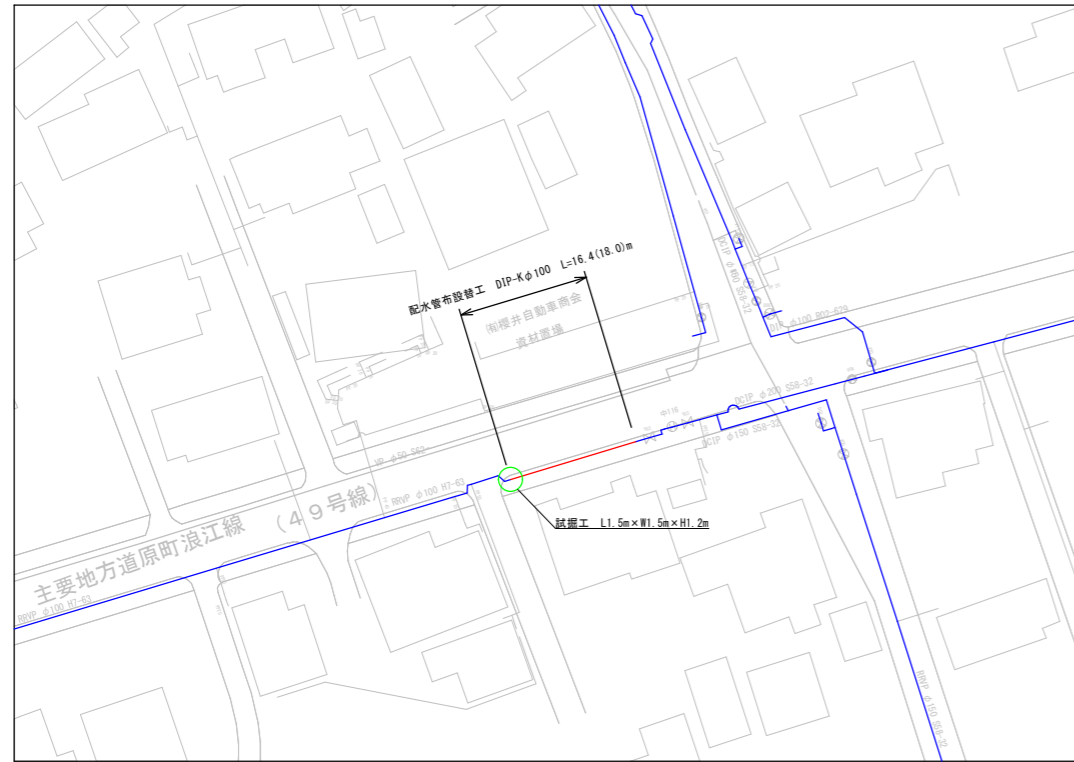
(4) 道路工事に係る地区への周知

施工時期が決まり次第、監督員へ報告のこと。工事周知文は、月1回の市広報誌回覧時に合わせて回覧する。なお、これによらない場合は、請負者にて地区住民へ周知を行うこと。

(5) 工期について

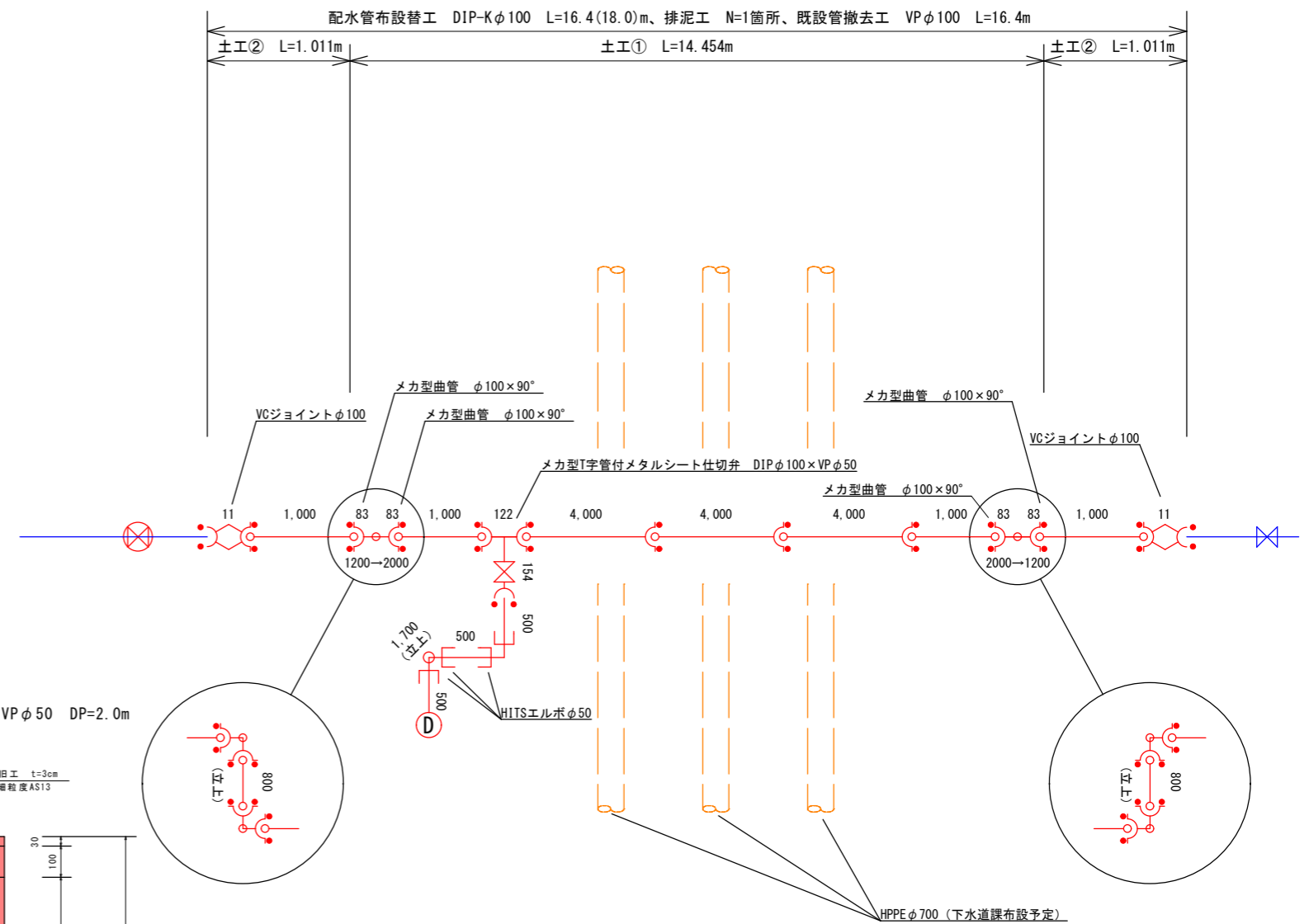
本工事の工期は、入札日の平日3日後から令和8年11月30日（月）まで（約5か月）とする。

平面図



配管詳細図

S=Free



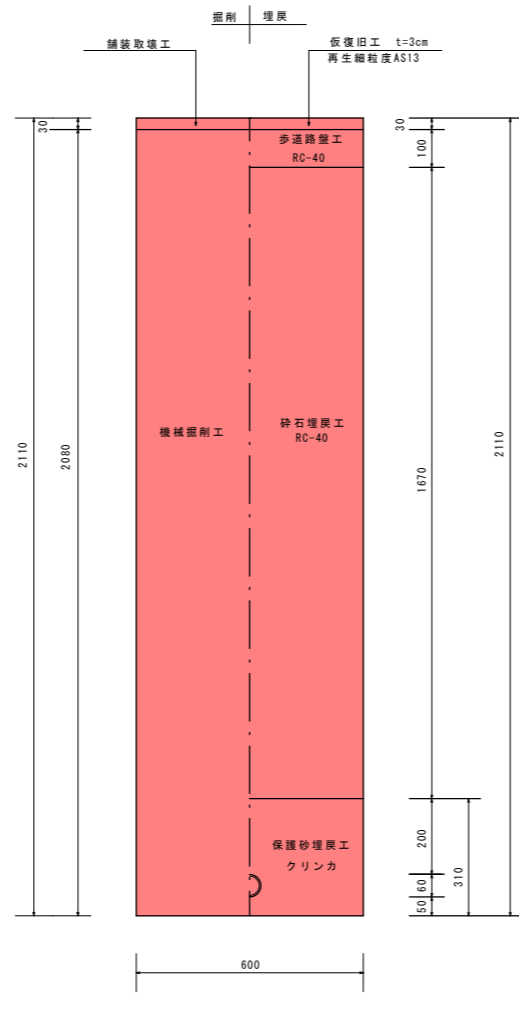
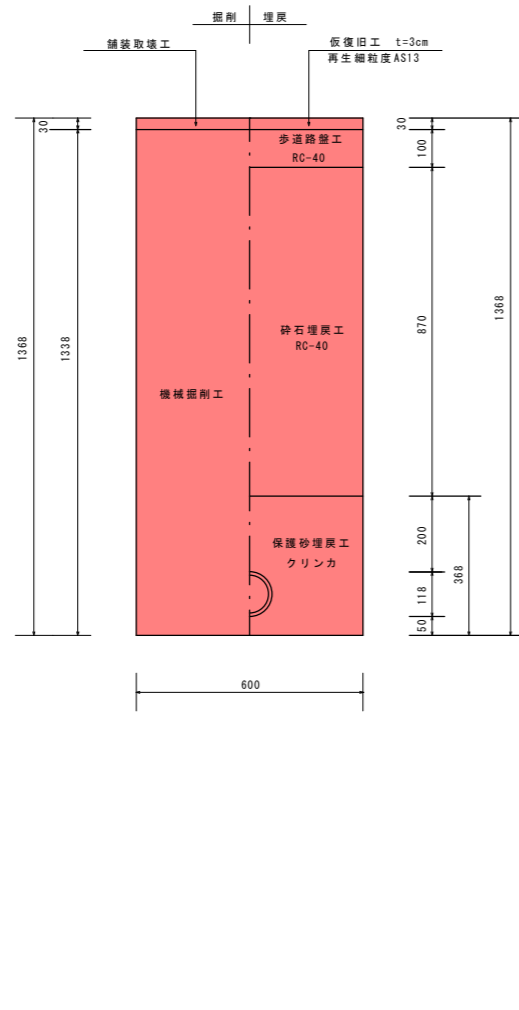
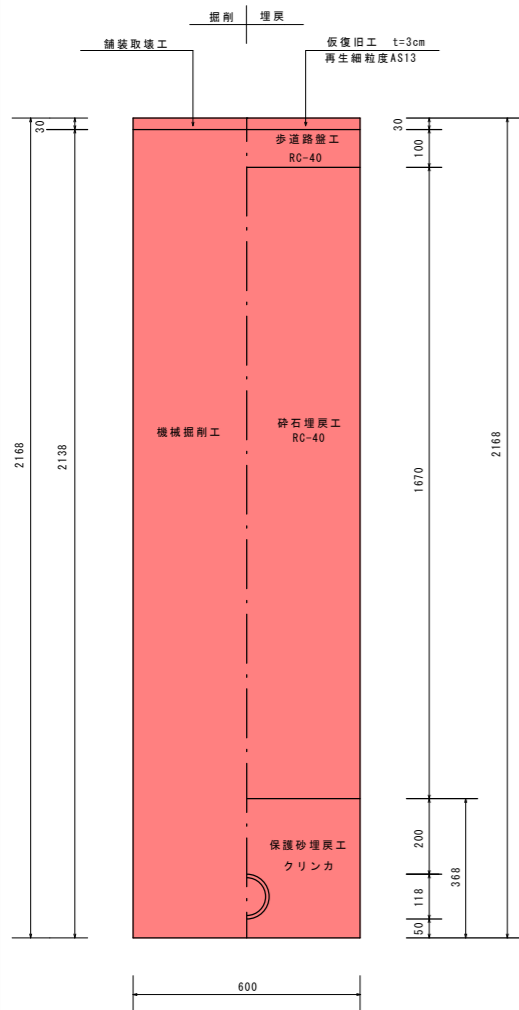
標準土工図

S=1:10

土工① (市道) 歩道舗装部 DIP-Kφ100 DP=2.0m

土工② (市道) 歩道舗装部 DIP-Kφ100 DP=1.2m

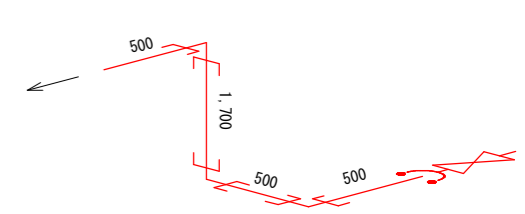
排泥土工 (市道) 歩道舗装部 HIVPφ50 DP=2.0m



【切管調書】

DIP-Kφ100		(残 200)
1,000	1,000	800
HIVPφ50		(残 800)
1,700	500	500

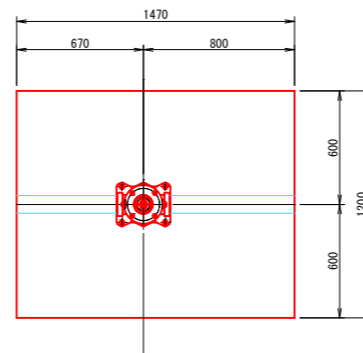
排泥土工詳細図



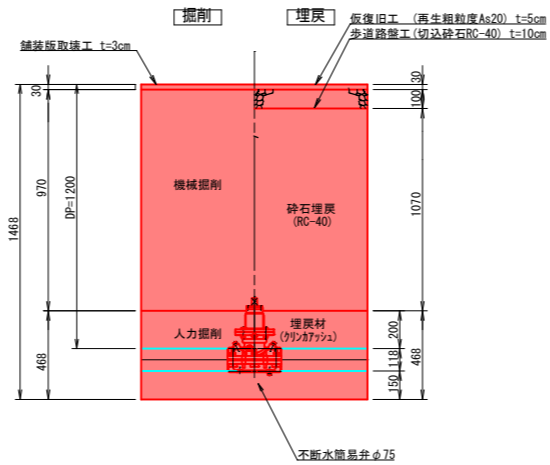
令和8年度 契約番号第	号
南相馬市原町区大木戸字松島 地内外	
下水道関連事業配水管布設替 (大木戸字松島地区) 工事	
平面図・配管詳細図・標準土工図	
縮尺	図示
測量	年月日
設計	年月日
福島県南相馬市建設部水道課	

不断水簡易弁設置工箇所
φ100 DP=1.200m

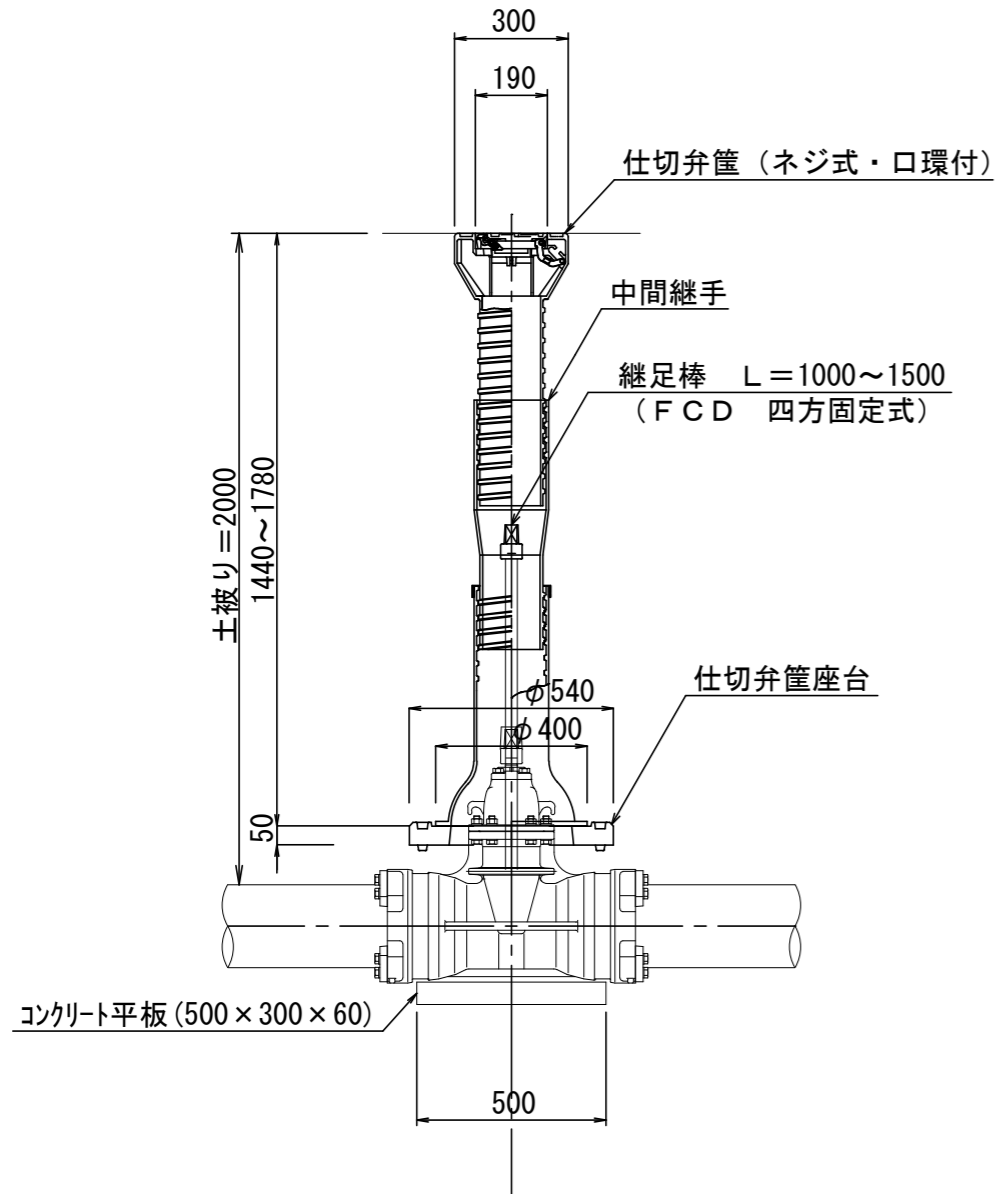
平面図



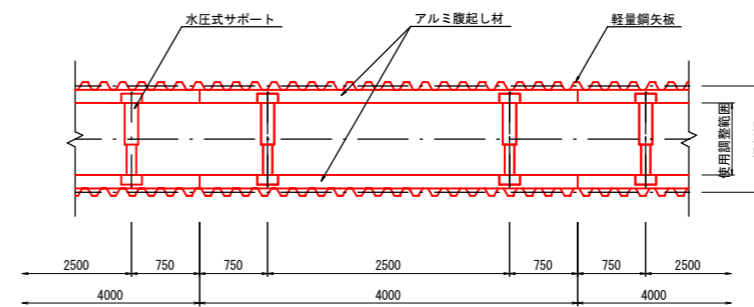
断面図



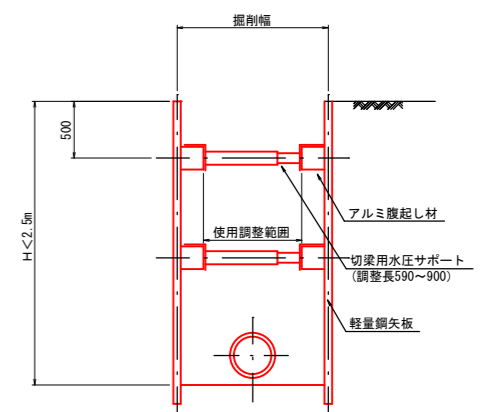
令和8年度 契約番号第 _____ 号				
南相馬市原町区大木戸字松島 地内外				
下水道関連事業配水管布設替 (大木戸字松島地区) 工事				
不断水工詳細図				
縮尺	図示	図面全 3 の 2		
測量		年月日	主任技師	
設計		年月日	管理技師	
福島県南相馬市建設部水道課				



平面図



支保2段 断面図



土留式 型式	部材長 (m)	掘削深 (H)	支保工段数 (段)
軽量 鋼矢板	1.50	1.30m 以下	1
	2.00	1.30超~1.80m以下	1
	2.50	1.80超~2.00m以下	1
	2.50	2.00超~2.30m以下	2
	3.00	2.30超~2.80m以下	2
	3.50	2.80超~3.30m以下	2
	4.00	3.30超~3.50m以下	2
	4.00	3.50超~3.80m以下	3

令和8年度 契約番号第 号			
南相馬市原町区大木戸字松島 地内外			
下水道関連事業配水管布設替 (大木戸字松島地区) 工事			
施設標準図・仮設土留工標準図			
縮尺	図示	図面全 3 の 3	
測量		年月日	主任 技師
設計		年月日	管理 技師
福島県南相馬市建設部水道課			

見積単価一覧

	コード	名称	規格	見積単価	単位
1	F4001	ダクタイル鋳鉄管用継手	メカ形曲管 $\phi 100 \times 90^\circ$	¥ 41,850	個
2	F4002	識別マーカ	青色	¥ 2,100	個
3	F4003	メカ型T字管付メタルシート仕切弁	DIP $\phi 100 \times$ VP $\phi 50$	¥ 210,960	個
4	F4004	耐震型K形特殊押輪	$\phi 100$ 3DkN離脱防止性能	¥ 19,700	基
5	TZ7112	管明示テープ (エコポリ製・印刷表示付)	W50mm \times t0.15mm 粘着	¥ 185	m
6	TZ8012	ポリエチレンスリーブ	$\phi 100 \times 5.0$ m	¥ 651	m
7	TZ8052	粘着テープ	t = 0.4 mm W = 50 mm	¥ 122	m